



図書館だより 5月

新学期が始まって 1 か月が過ぎました。新しいクラス、新しい生活には慣れましたか？
新学期になって 2 クラスが HR 活動で図書館を利用してくれました。また、連休中に読もうと本を借りに来る人もたくさんいました。ちょうど疲れがたまってくるこの時期、本を開いてゆったりとした時間を過ごすのもいいですね。身体も心もリフレッシュして、また頑張っていきましょう！

今年度の課題図書が決定！

第 71 回全国青少年読書感想文コンクールの課題図書が決定しました。
1・2 年生は夏季休業中の課題として読書感想文を書きます。
課題図書で挑戦しようと思う人は早めに読んでおくといいですね。
5 月中旬には図書館にも入りますのでぜひご利用ください。

『銀河の図書室』
名取 佐和子:著

宮沢賢治の言葉を残して、
突然学校から消えた先輩。
その謎を追う高校生たちが
瑞々しく描かれます。

『コードのぼくが
見る世界』
五十嵐 大:著

ノン・フィクションです。

『アンネの日記』を
彷彿とさせる
感動作です。

『夜の日記』
ヴィーラ・ヒラナンダニ:著

NEW

もうすぐ図書館に入ります。ぜひご利用ください！

『僕には鳥の言葉がわかる』 鈴木 俊貴:著

おすすめ!

言葉を持つのは人間だけという常識を覆し、「シジュウカラが 20 以上の単語を組み合わせ文を作っている」ことを世界で初めて解明した研究者による科学エッセイ。本文内のイラストも全て著者自身によるもの。まさに現代のドリトル先生！

「好きだ！」「知りたい！」という気持ちが世界的研究に結びつく……
著者の鳥への愛が満載のポジティブな気持ちになれる一冊です。

おすすめ!

『問題。以下の文章を読んで、家族の幸せの形を答えなさい』 早見 和真:著

小学 6 年の十和は、家族の幸せの形がわからない。楽しい母、やさしい父、かわいい妹。それなのにどうして心がこんなに荒むのか。バラバラになりそうな一家は、この問題を解決することができるのか？中学受験を通して家族の成長を描く感動作。

学習の手がかりに！

『私はこうして勉強に
ハマった』
ビリギャル本人さやか:著
『結果を出す人はどんな
質問をしているのか？』
徳吉 陽可:著
『夢を叶えるために
脳はある』
池谷 裕二:著

話題の小説！

『楽園の楽園』 伊坂 幸太郎:著
『PRIZE』 村山 由佳:著
『世界 99 上・下』 村田 沙耶香:著
『下垣内教授の江戸』 青山 文平:著
『やなせたかしの生涯 アンパンマンとぼく』 梯 久美子:著
『午前 7 時の朝ごはん研究所』 小田 真理子:著

新書も読んでね！

『働かないアリ 過労死するアリ』 村上 貴弘:著
『特殊害虫から日本を救え』 宮竹 貴文:著
『体験格差』 今井 悠介:著
『動的平衡は利他に通じる』 福岡 伸一:著

他にもいろいろあります！